

ディプロマ・ポリシー「卒業認定・専門士の称号授与の方針」

近森病院附属看護学校は、豊かな人間性と幅広い教養、高度な専門性を身につけ、人間の尊厳と権利を守り社会に貢献できる人材育成を目的としている。その実現のために、人間教育を基盤にした専門教育を行うための体系的なカリキュラムを構築し、学生の履修に関する教育内容、評価方法を明らかにし客観的な成績評価を行う。

下記に示したディプロマ・ポリシーは学生がこれらの領域の力を3年間で身につけ、看護師としてさらにそれらの能力を深め社会に適応できる力となるような教育をめざしたものである。卒業要件を満たす所定の単位を修得した学生に対して卒業を認定し、医療専門課程の専門士の称号を授与する。

1. 基盤となる人間力

- 看護の基盤となる幅広い教養を備えている。
- 看護の対象となる人々の尊厳と権利を尊重した行動がとれる。
- 看護の対象となる人々と援助的なコミュニケーションがとれる。
- 看護の対象となる人々に真摯に関り、関係を深めることができる。

2. 看護を実践する力

- 人々の健康や生活でおこる様々な問題を看護の視点で考えることができる。
- 必要な情報を様々な方法により、収集することができる。
- 収集した情報を科学的根拠に基づいて、解釈・判断し、問題解決に向けて計画の立案ができる。
- 健康に関する課題解決に向けて、安全・安心・安楽・安寧を基本とした看護実践ができる。
- 看護の対象となる人々の持つ力を活かした個別的な看護実践ができる。
- その時、その場、その状況に応じた看護の必要性に気づき実践することができる。

3. 連携する力

- チームメンバーと協力関係を築き看護実践ができる。
- チーム医療において看護と多職種との協働・連携の重要性について説明することができる。
- チームメンバーの考えを受容しつつ、積極的に自身の考えを伝えることができる。
- 医療職者として対象者やチームに対して、責任ある行動がとれる。

4. 社会に貢献する力

- 社会や医療の動向に関心を持ち柔軟に対応することができる。

5. 成長・挑戦する力

- 看護専門職として自らの課題を見出し学び続けることができる。
- 自身の強みを活かし、挑戦し続ける姿勢がみられる。